

ま え が き

私たちのふるさと宮崎は、「太陽と緑の国」と呼ばれるように、温暖な気候のもと、紺碧の空、青い海、緑豊かな山々や、これに端を発して太平洋にそそぐ多くの清らかな河川など、美しく豊かな自然環境に恵まれております。また、大気や水質等の生活環境も概ね良好な水準にあります。

この恵み豊かな自然環境や生活環境を保全し、将来へ引き継いでいくことは、私たちに課せられた重大な責務です。

しかしながら、今日、水質汚濁や廃棄物の処理といった身近な問題に加え、地球温暖化、酸性雨、オゾン層の破壊などの地球規模の環境問題、さらには、ダイオキシン・環境ホルモン等の化学物質問題の顕在化など、解決すべき問題は複雑かつ多様化してきています。

これらの問題を解決するためには、私たちの日常生活や事業活動が環境に大きな影響を及ぼしていることを改めて認識するとともに、環境への影響がより少ない循環型社会の構築に向けて、一人ひとりが環境に配慮した具体的な取組を進めていくことが重要です。

このような状況を踏まえ、県では、平成13年3月に「人と自然の共生する地域環境づくり」を目標とする「宮崎県環境基本計画（改訂計画）」を策定し、県民の皆様をはじめ、民間団体、事業者、行政がそれぞれの役割とパートナーシップのもとに、連携して環境の保全に取り組んでおります。そして、現在、公害の防止に留まらず、本県の優れた生活環境を保全するとともに、地球環境問題にも対応するため、新たな条例の制定作業を進めております。

また、昨年3月には、この計画の重要施策に位置づけられている廃棄物の減量及び適正処理を推進するための「宮崎県廃棄物処理計画」と、生活排水対策を更に推進するための「第2次宮崎県生活排水対策総合基本計画」を策定したところです。

今後とも、本県の優れた環境を次世代に引き継ぎ、私たちのふるさと宮崎から、21世紀を「環境の世紀」としていけるよう、県民の皆様と共に、なお一層努力してまいりたいと考えております。

この白書は、平成13年度の本県における環境の現況と保全に関して講じた施策の概要を中心にまとめたものです。本書が、皆様方の環境問題への理解と認識を深める上での一助となれば幸いです。

平成15年2月

宮崎県知事 松 形 祐 堯